

人権

～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.546 日々のつながりが力になる

地震から3カ月がたちました。今回の

経験を通して、住民同士の支え合いがいかに重要であるかを、改めて実感された人も多いのではないのでしょうか。災害時は、支援を必要とする人に限らず、全ての人が不安や困りごとを抱え、一人では解決できない課題も見えてきます。その課題に誰かが気づき、寄り添うことは、有事ではとても難しいことです。

そこで、普段から顔を合わせ、気軽に声を掛け合っていれば、「あの人は大丈夫だろうか」と災害時にも自然と相手を気にかけることができます。「何か困ったことはありませんか」という温かい声かけや互いを気遣う行動は、日頃の関係性があるからこそ生まれるものです。

では、日頃の関係性とは具体的にどのように作り上げればよいのでしょうか。特別なことをしなければと身構える必要はありません。すれ違ったときにあいさつを交わす、無理のない範囲で地域活動に参加する、などでも構いません。

また、まちづくりにおいて、性別、年齢、国籍、障がいの有無などにかかわらず、その人らしい意見を反映させられる環境づくりも大切です。

こうした日常のつながりや、多様性を認め合う関係こそが、いざという時に誰も孤立させず、互いの尊厳を守りながら支え合うための確かな土台となります。

大地震を二度経験した今だからこそ、日々のつながりを大切にし、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会を作り上げていきましょう。

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

●いじめについて

益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

●さまざまな人権問題

益城町福祉課人権推進係 ☎ 289-1400

同和教育推進協議会、障がい者・女性・子どもの人権問題、人権に関する法律相談など、各種人権に関する相談窓口は、町ホームページ「人権についての電話による相談窓口」をご確認ください。



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆地域安全ニュース

交通事故で見舞金が出ます

交通災害共済制度は、町民が交通事故により死亡や負傷した場合に、入院や通院を行った期間に応じ、交通災害見舞金を支給するものです。本共済制度の掛け金は全額町負担のため、共済制度に関する個人の金銭的な負担はありません。

■請求条件

- ・交通事故発生時に町民であること。
- ・交通事故発生日から1年以内。
- ・自動車安全運転センター発行の交通事故証明書※があること。

■請求方法

- ・原則、負傷した本人が請求してください。
- ・受け付け窓口は危機管理課です。

■注意事項

- ・期限内に必ずご請求ください。
- ・事故に巻き込まれたら、その場で示談をせず、必ず警察に届け出てください。

図 御船警察署 危機管理課

☎ 282・1110
☎ 286・3210

令和8年 町内の 事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	9月中	累計
人身事故	8	53
物損事故	76	696
空き巣	1	2
自販機狙い	0	0
万引き	0	10
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	5
車上狙い	0	1

◆防火と救急

火災対策を万全にしましょう

秋は空気の乾燥や火気を使用する機会の増加に伴い、火災が発生しやすい季節。火災から尊い命と財産を守るため、11月9日から15日まで「秋の全国火災予防運動」が実施されます。

この運動を機に、火災の発生を防ぐための習慣を身に付け、万全な安全対策を講じましょう。

■火災から命を守るポイント

- ・寝たばこは絶対にしない、させない。
- ・調理中にコンロから目を離さない。
- ・ストーブなどの暖房器具の周囲に燃えやすいものを置かない。
- ・コンセントのホコリを清掃し、不要なプラグは抜く。
- ・消火器を設置し、使用方法を確認する。
- ・住宅用火災警報器の点検及び維持管理を徹底する。



図 益城西原消防署

☎ 286・2119

令和8年 町内の火災等発生状況

発生区分	9月中	累計
建物	0	3
車両	0	1
林野	0	1
その他	1	2
警戒出動	1	12
救急出動	168	1445
救助出動	2	10

益城の文芸

短歌

末武侑子 選

クローバーの青む公園屈みつそつとそつと踏み児の飛蝗捕り 安永 守住 孝子
夕涼み寝転びをれば虫の声長き暑さもほだけゆくころ 惣領 甲斐 道夫
また揺れた今の震度は5か4か速報見ずとも身体で判定 木山 本田 龍子
音低くラジオ聴きいるわが妻はときおり不意に声たて笑う 惣領 垣野 幸一
高台のあの日倒れし顕彰碑訪ふ人もなく秋桜揺る 惣領 富田 信子
梅干しは力の味と教へられ今日もひと粒声を思ひぬ 馬水 松本 稔
彼岸花あわてたように咲き乱れあなたが好きなばたもちをつくる 馬水 篠原 晴美
どよめきと歓声響く校庭に孫のダンスをドローン追へり 広崎 大原 郁
手作りの模型飛行機空へ放つ高く飛べよとその行方追ふ 惣領 清水 宏
秋の日に下田の宿をおとないて「吉井」の札の部屋に泊まりぬ 木山 赤城 香織
※10月号に掲載した本田龍子さんの作品に誤りがありました。正しくは次の通りです。おわびして訂正します。
黒雲の湧き出でくれば早く来いとぞ夕立待てり 木山 本田 龍子

俳句 川柳

小春 選

満月や虫の音ながる夕涼み 惣領 野宮 逸吉
モツコクやしめ縄キリリ夏の庭 安永 福山 友子
携帯電話さらしにさして秋祭 広崎 大石 高義
老かなし割った茶碗に詫びて 馬水 松本 稔
夕暮れや住み家探してトンボ去る 広崎 大原 郁
向日葵の種の実りて頭垂れ 木山 本田 龍子
暑氣払い仲良し親子ヘイヘイホー 古閑 井上てつ子
鍬いれる土のにおいや秋高し 安永 福山 友子
腹の虫押えが効かぬ三杯目 馬水 増岡 伸禧
青瓢小さきなりのくびれかな 惣領 富田 信子
ローゼルのルビー酸っぱき秋の風 馬水 増田 訓子